

国連のアフガン難民帰還プロジェクト

AMDA医師1人派遣

病院運営や巡回診療

内戦が続くアフガニスタンの難民を帰還させる国連の総合プロジェクトに、岡

山市に本部を置くAMDA（アジア医師連絡協議会）が参加することになり、9



10日の出発を前に記者会見する柴田医師（右端）

日、医師1人を現地に派遣することを発表した。

同プロジェクトは、UN HCR（国連難民高等弁務官事務所）が計画。パキスタン・ペシャワールにいるアフガニスタン・アズロからの難民約8万人を帰還させるため、アズロに病院や学校、住居、飲料水などを総合的に整備する。このうち病院の運営や巡回診療な

ど医療面でAMDAが支援する。

派遣されるのは、神戸市内の病院に勤務していた柴田俊一医師（31）。現地では、1病院、5診療所の建設が進んでおり、医師や看護婦らをスタッフとして雇い、今月下旬から活動を始める予定。3年後には現地スタッフだけで運営できるように実践的な医療教育もする。

柴田医師は「今年2月に地震が発生するなど、つらいニュースが続くアフガニスタンだが、今回は朗報が伝えられるよう努力したい」と決意を語った。

【神谷 素生】